

2024 年 11 月発行 VOL.124

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌

2024 年 8 月 2 日（金）に長崎市立図書館で、
青少年国際理解講座「学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！」を開催しました！



長崎に住む外国人（オーストラリア、中国、韓国、イタリア、ネパール）が先生になって、県内の小学生 38 名に、「旅行先」の言葉や習慣、食べ物などについて教えてくれました。
先生のお話を聞く小学生は真剣そのものでした。

2024 年 10 月 19 日（土）に国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で、
「第 16 回～語り合おう in Nagasaki～外国人による日本語弁論大会」を開催しました！



大会には、4 カ国 6 名の県内在住の外国人（ベトナム、中国、カザフスタン、韓国）が出場されました。

出場者は、職場で日本人と関わるなかで感じたこと、花を通して見える違いなど様々なテーマでスピーチされました。「人生は短く、夢があれば行動してほしい」、「他の国を知ることでは、自分や自国のことを本当の意味で理解することはできない。」などのスピーチに込められた想いが、私たちの胸に響きました。

来場者の皆様から、「日本で様々な経験をし、目標や自分の考えを持っていて素敵」、「自分の想いを上手に話されていて、私も外国語の勉強をもっと頑張りたい」、「日本に対して好印象を持ってくださっていることが伝わってきた。彼らを温かく受け入れていく日本社会でありたい」などの感想をいただきました。

主 催：外国人による日本語弁論大会実行委員会
（公財）長崎平和推進協会 / （公財）長崎県国際交流協会
協 賛：長崎商工会議所、JR 九州株長崎駅
来 場 者：96 名

大会のスピーチを
視聴できます！

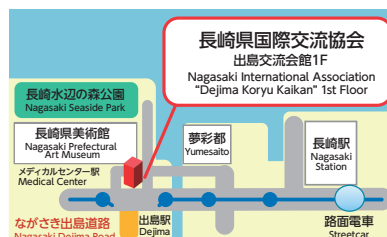


公益財団法人

長崎県国際交流協会

Nagasaki International Association

〒 850-8062 長崎市出島町 2 番 11 号
TEL 095-823-3931/E-mail nia@nia.or.jp
[開館時間] 月～金曜日 9:00～17:30 ※祝日休館



公式 HP



Facebook



第16回～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会

入賞者のご紹介

最優秀賞

言語の壁 MUSTAFIN BATYRKHAN (カザフスタン出身)

皆さん、こんにちは。少し緊張していますが、皆さんの笑顔を見ると安心します。エッセイのタイトルは「言語の壁」です。この言葉の意味をご存じですか。異なる言語を話す人のコミュニケーションに生じる困難を指します。私も含めて外国に移住した人にとっては、その障壁が日常的なものになります。言葉が理解できれば解決すると思われがちですが、実際には言語の壁の他に文化の壁も存在します。

ここでは文化の話をしますが、皆さんは私の母国カザフスタンについてどれだけご存じですか。「我はカザフ人、千回死亡し、千回復活する」という歌の一節があります。二百年以上、ロシアの下で少数民族として過ごしてきました。現在、独立を果たしたものの、伝統が混ざり合った結果、新しい文化が生まれました。その妙な環境こそが、私の揺りかごであり、私の育ちであり、そして私の誇りです。しかし、外国人にとっては確かに分かりにくい環境です。明確にするために、カザフスタンで生まれた人々は、どういう人物になるのか、私を例にして説明します。一見すると、東洋の顔立ちをしているのに、生活様式はヨーロッパに近いです。カザフstanは多様な伝統や民族も混ぜられてきた国です。面白いと思いませんか。

日本人や他国の方と付き合うときに、先ほど説明したような複雑な文化の特徴は障害になることが多いです。移住者の生活は、今までの人生経験が突然役に立たなくなるということです。社会的文脈が詳しく説明されなければ、単なる話も伝わりにくくなります。地元では当たり前のことが、ここでは謎になります。育ちの違いは世界観の違いです。それが、文化の壁という問題です。

しかし、本当にそれは問題なのか、何か障壁があるのか、とお聞きしたいです。

私の経験によると、問題ではなく、面白いと思う人が多いです。話しかけてくれて、私の話を注意深く聞いてくれる人たちです。よその者であるにもかかわらず、歓迎されていると感じます。一方、私もおかげさまで日本のことを発見できます。

確かによく見てみると、ここには壁はありません。皆さんの素敵な笑顔がはっきりと見えます。結局、人間の違いは障害ではなく、むしろ恵みであるかもしれません。少なくとも、私はそう感じているのです。



第2位



言葉や文化の違いによる誤解

第3位・未来賞



き々 (おのおの) の自由

入賞者の皆様

JR九州賞



フレンドリーな日本人

JR九州賞



日本でみつけたやりたいこと

館長賞



花から見えること

2024年9月15日（日）に長崎県庁で、
「第26回ながさき国際協力・交流フェスティバル」を開催しました。

今回は、初めて「Nagasaki Lanka Nakama」、「特定非営利活動法人長崎イスラームセンター」が活動展示を、「長崎県行政書士会」が相談ブースを設けてくださいました。最後は、琴や琵琶などの演奏に合わせて、「上を向いて歩こう」をみんなで手拍子をしながら歌いました。

主 催：（公財）長崎県国際交流協会／フェスティバル2024盛り上げ隊*

※JICAデスク長崎、県民ボランティア活動支援センター、

長崎日蘭協会、在長崎ベトナム人協会、学生国際NGO BOAT

出 展：32団体、38ブース

来場者：2,300名



買う いろいろな国の食べ物やハラルフード、フェアトレード製品、手工芸品など



インドネシアのハラルフード



タイの手工芸品



アフリカ布の手工芸品

体験する 民族衣装を着る、着物・茶道、ゲームやクイズ



着物と茶道の体験



県国際課（JETプログラム）ブース

活動展示 団体の活動紹介



文化の紹介



渡航や外国人受入れ



アオザイ（ベトナム）の試着



サリー（ネパール）の試着



Nagasaki Lanka Nakama



長崎イスラームセンター

相談する 入管・行政書士の相談



長崎県行政書士会の相談会

ポッポちゃん和ユキマサくんのクイズ大会



お弁当・おやつの販売



ベトナムのおやつ

世界でキラリ★ JICA 海外協力隊

ミリウエ アマクル
Mwiriwe Amakuru?
こんにちは 元気ですか？

ムラコゼ
Murakoze
ありがとう

赤星 光江（あかほし みつえ）さん

【2022 年 7 次隊 ルワンダ共和国 音楽】

世界中で活躍する JICA 海外協力隊。2022 年からルワンダ共和国で音楽隊員として活躍した赤星さんにお話をお聞きしました！



ルワンダ共和国は、アフリカ大陸の東部に位置する内陸国です。国土は草原と丘陵で構成され、「千の丘の国」と呼ばれています。赤道から 2 度の位置にありますが、海拔が高いため温帯気候に属しており、年に 2 回の雨季があります。



自己紹介

東京都出身。東京都の公立小学校で音楽専科、副校長を経験。早期退職し、JICA 海外協力隊としてフィジーに派遣（コロナのため緊急一時帰国）。2022 年 8 月からルワンダ赴任。この度、無事に 2 年間の活動を終え帰国しました。

配属先について

配属先の学校はニヤマタ教員養成学校といって首都キガリから南へ 35 キロ行ったところにあります。1 年生から 3 年生まで約 700 人が在籍する高等教育機関です。（全寮制。主に 15 歳から 18 歳）生徒たちは卒業後、大学に進学する人もいます。国家試験（教員採用試験）に合格できれば次年度から公立小学校に勤務することができます。校舎内は緑豊かな落ち着いた雰囲気のある学校です。

音楽の授業

各クラスそれぞれ週に 1 回または 2 回の音楽の授業が行われています。現地の先生はこれまでピアノなどの楽器を使わず教室で理論中心の授業を行ってきました。そこで私は実技中心のソルフェージュ（solfège）や歌唱指導、ピアノに関する基礎的なレクチャー、指揮法など教えました。生徒たちは教えなくてもすぐにハーモニーを作って歌うことができました。「どうやってその音を見つけるの？」と聞いても「なんとなく」といった返事しか返ってこなくて、最後まで謎でした。

ピアノクラブ

昼休みには「ピアノクラブ」の活動を行いました。本校には電子ピアノが 13 台あり、メンバーが毎日入れ替わりながら練習に来ていました。初心者の方には指番号から教え、5 本の指を全部使って片手ずつ練習することから始めました。経験のある生徒の中には自分で作詞作曲して弾き語りをしたり、即興で簡単な曲を弾いたりしていました。任期最後の学期にはお別れコンサートを行うことができました。

ティーチャーズトレーニング

先生方に対してもピアノ指導を行いました。練習用のテキストを作成し、自主練習できるよう環境を整えました。今後はそれを自分たちで有効活用してもらえたらと思います。

ハンドサインをしながらドレミファソラシドで歌う練習をしています。



音楽の授業の様子

自主練習をしたり、テキストを用いたり、先生方の要望に沿って行いました。



ティーチャーズトレーニングの様子

ピアノ以外にも歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏を披露してくれました。



お別れコンサートを行った際の集合写真

令和 6 年度国際交流スタート支援事業のご報告

長崎県国際交流協会では、県民の皆様の国際交流・多文化共生活動を支援するため、助成金事業を実施しています。2024 年 6 月に、九州アジア産業支援協同組合さんが開催された「外国人と支援者の交流会」で「国際交流スタート支援事業」助成金を活用していただきました！

九州アジア産業支援協同組合さんの活動と交流会についてご紹介します🎵

有料職業紹介・登録支援機関・監理団体として外国人と日本人のかけ橋になり、双方に働きやすく生活しやすい環境づくりのお手伝いに日々取り組んでおります。長崎県国際交流協会の国際交流支援事業は、当組合の目標とするところであり、このスタート事業のご支援をいただき、初めて、地域の方を交えた交流会の開催をすることができました。

2024 年 6 月 6 日、長崎県諫早市にある高城会館で、日本で働く外国人と支援団体の皆様との交流会を開催しました。交流会では、まず、やさしい日本語について勉強したあと、日本語スピーチコンテストを開催し、最後にバーベキュー交流会を行いました。たくさんの外国人や組合員の皆さん、加えて地域の方が参加してくださり、イベントは大盛況でした。

★やさしい日本語講座★

外国人と一緒に働いたことがある方の中には、自分が話す日本語を、なかなか理解してもらえずに苦労した！という経験があるものです。普段、何気なく私たちが話している日本語が、外国人にとって理解できない場合は少なくありません。

近年メジャーになっている「やさしい日本語」を、新しい言語として捉えて使用していただきたい、と考え、日頃から組合員の皆さんに向けて開催しているセミナーを地域の方に体験していただきました。3 人の講師のレクチャーを、参加者は、ディスカッションを交えて楽しく学びました。外国人も、日本人が日本語を学ぶ姿を不思議そうに観察していました。



★日本語スピーチコンテスト★

介護事業所などで働く、インドネシアとミャンマー出身の 8 名が、「わたしが変だと思う日本」をテーマに、流暢な日本語でユーモアたっぷりにスピーチをしてくれました。NBC 長崎放送の元アナウンサー塚田恵子さんも審査員としてご参加くださいました。

日本人の私たちにとって、今まで当たり前だと思っていた常識も、言われてみれば変だよね！と共感する内容でした。見事、金賞に輝いたのは、夏吉睦福祉会で働くエニ・ヌル・ライリさんでした。



★バーベキュー交流会★

夕方は、みんなでバーベキューを楽しみながら交流を深めました。

美味しいお肉とカラオケで盛り上がりました。外国人同士で、とても楽しそうに打ち解けていましたし、日本の歌もとても上手でした🎵

その後、新しい友達と稲佐山の夜景も楽しみ、忘れられない 1 日になりました。



📄 令和 6 年度助成金事業の申請団体を追加募集中！

国際交流事業等を初めて行う民間団体様や、国際交流の経験がある民間団体様や、多文化共生に取り組みたい企業様を対象にしています。

👉 詳細はこちら

長崎県内で国際交流・協力を行う団体の紹介

アザレア



長崎県内には、国際交流・国際協力を行う様々な団体があります。
今回は、今年で設立16年目を迎えた「アザレア」の山口響子さんにインタビューしました。

(参加者の声) 1年半前から、毎週楽しく参加しています。日本語の勉強になるのはもちろん、豊富な経験からアドバイスをしてくれて、ためになります！

Q1. いつ、どこで、どんな活動をされていますか？

毎週月曜日午前11時から、長崎県国際交流協会の交流フロア（出島交流会館1F）で、長崎県にお住いの外国人と日本語でフリートークをしています。どなたでもご参加ください！



Q2. どんな方が参加されていますか？

現在、マレーシアやタイの方が参加されています。これまでに、様々な国籍の留学生、長崎在住外国人の配偶者の方が参加されました。日本語が話せなくても大丈夫です。外国に興味のある日本人も参加大歓迎です。

Q3. この活動を始めたきっかけは？

16年前、長崎県国際交流協会の講座に参加した時、ここでの活動を勧められ、講座で仲良くなった友人と2人で始めました。

Q4. 国際交流に興味を持ったきっかけは？ どんなご経験をされましたか？

高校生の時、喫茶店で外国人たちと相席することになり、興味本位での英会話でしたが、通じたのが面白く感じました。また、子育ての合間に受講した公民館講座(国際交流)で知り合った同い年の韓国人講師宅で、本場の料理を教えてもらったり、互いの考えを伝え合ったり、とても楽しい経験をしました。ベトナムから結婚式の招待状が来た時は、彼らの自宅に招待され、アオザイを着て会場でお祝いスピーチをしました。タイや台湾に遊びに行った時は、お互いの友人を交えて案内してくれたり……、たくさんの心温まる経験をしました。

Q5. この活動のモチベーションを教えてください。

毎週、自分の子どもと同じ位の年齢の人と話すことで、いろいろな刺激をもらっています。

協会からのお知らせ



2024年9月17日より、雲仙市役所に「外国人相談窓口」が開設されました。
詳しくは、こちらから

長崎県外国人相談窓口 長崎県に住む外国人の皆様が、安全・安心に生活できるよう**22言語で相談に対応します。**

【相談できる日時】

月曜日～土曜日 午前9:00～午後5:00
※日曜日、祝日、12/29～1/3は休み

【相談できる内容】

在留資格、健康、子育て、生活習慣などで困っていること

【相談する方法】

■窓 口 長崎県国際交流協会内
長崎市出島町2-11
■電 話 095-820-3377
■メー ル soudan@nia.or.jp

ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ【主催：長崎市】

外国の文化を気軽に楽しく体験したり、国際交流を行うイベントです。様々な楽器の演奏や海外の民族音楽を披露するステージイベントのほかに、長崎市内で活動する国際交流団体の活動紹介や外国の民族衣装の着付け体験など、いろいろな国の文化を体験できるブースがあります。※当日「ちゃんぽん」は出ません。

【日 時】2025年1月25日（土）午前12:30～午後4:00

【会 場】ベネックス長崎ブリックホール3階（長崎市茂里町2-38）

【問合せ】長崎市 国際課 ☎ 095-829-1113



外国人支援事業を応援してくださる賛助会員を募集しています！

賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

安達株式会社
ヤナセ産業株式会社
東興産業株式会社
扇精光ホールディングス株式会社
長崎県青果移出商業協同組合

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。